

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		管理栄養学科		
科目名称	管理栄養士演習Ⅲ					授業形態	演習		
科目コード	306201	単位数	1単位	配当学年	4年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	木村 志緒								
授業概要	<p>(1) 15回分を木村が担当する。 (2) 国家試験において頻出されるテーマに取り組む。 (3) 当番研究室ごとにテーマを分担し、例題の簡易解説付き解答作成、暗記シートの作成、プレゼンなどを行う。 (4) (3)の翌週は同テーマについて演習問題に取り組んでもらい理解度等を確認する。</p>								
関連する科目	<p>事前に、管理栄養士演習ⅠおよびⅡを受講することが望ましい。 同時期に、管理栄養士演習Ⅳ、Ⅴを受講することが望ましい。</p>								
授業の進め方 と方法	<p>【偶数回の進め方】 (1) 当番研究室による例題簡易解説付き解答配布、暗記シート配布 (2) 当番研究室によるプレゼン（覚えておくべきポイント&例題解説含む） 【奇数回の進め方】 (1) 演習問題を解く (2) 解答用紙（カラー用紙）を教員に提出 (3) ユニバに回答番号を入力 (4) 教員から解答を受け取り自己採点・振り返り (5) 次週の予習</p>								
授業計画 【第1回】	本授業の進め方についての説明、来週分の予習								
授業計画 【第2回】	感染症(1) 当番研究室プレゼン								
授業計画 【第3回】	感染症(2) 演習問題取り組み								
授業計画 【第4回】	ホルモン(1) 当番研究室プレゼン								
授業計画 【第5回】	ホルモン(2) 演習問題取り組み								
授業計画 【第6回】	免疫(1) 当番研究室プレゼン								
授業計画 【第7回】	免疫(2) 演習問題取り組み								
授業計画 【第8回】	呼吸器・循環器(1) 当番研究室プレゼン								
授業計画 【第9回】	呼吸器・循環器(2) 演習問題取り組み								
授業計画 【第10回】	神経系・血液系(1) 当番研究室プレゼン								

授業計画【第11回】	神経系・血液系(2) 演習問題取り組み
授業計画【第12回】	腎臓(1) 当番研究室プレゼン
授業計画【第13回】	腎臓(2) 演習問題取り組み
授業計画【第14回】	臨床検査等(1) 当番研究室プレゼン
授業計画【第15回】	臨床検査等(2) 演習問題取り組み
授業の到達目標	①ユニバにおける課題提出を通してスケジュール管理等の自己管理能力を身に付ける【自己管理能力】 ②国家試験に必要な基礎的な知識および問題を解く際に活用できる力を身に付ける【知識・理解を応用し活用する能力】 ③社会人となった時、管理栄養士として他者と連携し、協調・協働して行動できる力を身に付ける【協調・協働能力】
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学修【予習】	<学習時間：90分程度> ①2週間に1回、例題（60問）を解き、ユニバで提出する。 1人で取り組むと正答率が低くなりがちなので、研究室単位で協力して取り組むことを推奨する。 ②当番となっている場合は、配布物やプレゼン資料の準備を研究室等で行う。
授業時間外の学修【復習】	<学習時間：1時間程度程度> ①2回に1回、翌週の演習に向けて覚えておくべきことを暗記シートをベースに整理し、インプットする。
課題に対するフィードバック	(1) 例題・・・学生が作成した簡易解説付き解答を教員作成例と照合する (2) 演習問題・・・教員が作成した簡易解答付き解答を配布する (1) (2)のどちらについても、質問等には授業時間外も含め対応する
評価方法・基準	以下の項目について相対的に評価する ①例題の正答率 ②演習問題の正答率 ③担当した例題の簡易解説付き解答配布物作成における教員との一致率 ④作成した暗記シートにおける教員との一致率 ⑤作成したプレゼン資料の的確性など
テキスト	・必要に応じて資料を配布する
参考書	
備考	